

【NEWS RELEASE】

2020年7月31日

各位

株式会社三井住友銀行

天満紙器株式会社に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、天満紙器株式会社（代表取締役社長：天満 宏）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（ ）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、天満紙器株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

環境に配慮した紙容器の開発・提供を通じた、資源有効利用等への貢献

目標 12.2 つくる責任 つかう責任	2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。
目標 15.2 陸の豊かさを 守ろう	2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。
目標 14.1 海の豊かさを 守ろう	2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。

物流資材の再利用による廃棄物削減、BCP対策を通じた気候変動への適応力強化

目標 12.5 つくる責任 つかう責任	2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
目標 13.1 気候変動に 具体的な対策を	全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靭性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



ナチュラルな素材感を活かしたプチサイズのケーキカップ



TEMMAのベストセラー商品
ベーキングトレイ



つくば工場外観

<ご参考>

SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。